

フラッター使用方法

■ 調合・練り混ぜ

フラッターの練り混ぜは、その使用目的により次のように調合してください。

なお、2回目の塗布時に塗りづらいときは、再度フラッタープライマーを塗布すると効果的です。

調合	使用目的	容積比		
		フラッター原液	セメント	水
【A】プライマー*	フラッタープライマーの場合	プライマー原液 100	—	300～400
【B】硬ねり	穴・亀裂等を充填する	100	100	10～15
【C】全面塗布用	全面に塗って補修する	100	100	35～40

*フラッター塗布に先だって、下地にフラッタープライマーを全面塗布してください。

■ 硬化までの時間（養生）

フラッターの塗布後、次工程が可能になるまでの硬化時間の目安は、2回塗り、塗布厚0.5mmで、下表のとおりです。

気温	軽歩行や塗り重ねが可能になるまでの時間	床材が施工可能になるまでの時間
夏季（約30℃）	2時間後	12時間後
春・秋季（約15℃）	2～4時間後	18時間後
冬季（約5℃）	4～6時間後	24時間後

特にデッキプレート下地、ALCパネル等の多孔質下地においては、2日以上（冬季は3日以上）の養生期間をとるとともに、床材施工時に下地の含水率に留意し、十分に乾燥させる必要があります。

■ 標準使用量

フラッターの標準施工面積は、下表のとおりです。

材料		標準施工面積
フラッタープライマー	フラッタープライマーの場合（9kg缶）	240m ²
フラッター	フラッター原液（28kg缶）+ポルトランドセメント（20kg）	50～80m ²

■ 施工工具



- ①ハンドミキサー
- ②バケツ（フラッターのペール缶を利用）
- ③左官刷毛（2丁ガケ）…プライマー塗布用
- ④地べら…全面塗布用
- ⑤左官ゴテ（角ゴテまたは仕上げゴテ）……部分充填用
- ⑥スクイージー

*このほか水とケレン用ヘラや掃除機等、下地の清掃用具が必要です。

■ 引張り強さ

塗布後48時間で、0.5mm厚塗布の場合のフラッターと各種下地との接着強さ（引張り強さ）は次のとおりです。

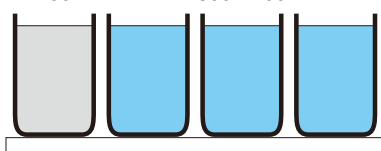
下地の種類		引張り強さ（N/mm ² ）
セメントモルタル		1.0～1.5
貼り替え下地 （接着剤残存） 〔注〕	アスファルト接着剤	0.4～0.8
	エマルジョン接着剤	0.6～0.8
	酢ビ、エポキシ接着剤	1.0～1.5
石材、テラゾー		0.8～1.5
ALC板		0.7～0.8
無機系塗り床		1.0～1.5

〔注〕（貼り替え下地：アスファルト系接着剤は60～70%。酢ビ系・エポキシ系接着剤は30～40%除去）

[A] フラッタープライマーの調合

■専用のフラッタープライマーを使用する場合

フラッタープライマー 100 水 300~400



●調合

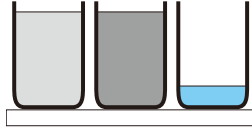
フラッタープライマー1に水3~4を加えてうすめ、これをよく攪拌して使用する。
9kg入り1缶で約240m²使用できる。



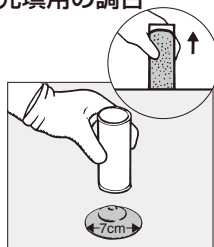
スクイージーやローラーバケで下地全面に塗布する。

[B] フラッター硬ねり充填用の調合

フラッター 100 セメント 100 水 10~15



●調合



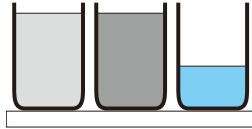
適正フローの目安



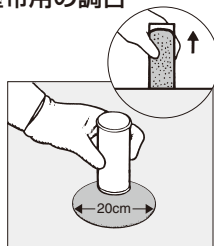
左官ゴテで硬ねりを充填する。

[C] フラッター全面塗布用の調合

フラッター 100 セメント 100 水 35~40



●調合



適正フローの目安



地べらで全面に塗布する。

※[B][C] 図中のフロー容器は190gの飲料缶を用いる。

■ フラッターの積算

所要量の算出基準

フラッター塗りのコスト計算は①下地の状況②フラッタープライマー③フラッターと普通ポルトランドセメントの材料代
④作業効率によって行います。

	全面塗布（調合A）	
材料	フラッター原液	普通ポルトランドセメント
所要量 (kg)	$1.02 \times \text{面積 (m}^2) \times \text{厚さ (mm)}$	$0.72 \times \text{面積 (m}^2) \times \text{厚さ (mm)}$
梱包単位	28kg	12kg
1缶当たりの施工可能面積*	50~80m ²	20~30m ²

全面塗布（調合A）の場合、原液1缶（28kg）に対して、セメント約20kgで計算してください。この調合で50~80m²を塗布できます。

※古い下地の傷み具合や不陸の程度によって異なりますが、塗り厚は0.3~0.5mmが標準です。フラッター原液1缶（28kg）は、2回塗り50~80m²に塗れます。

	プライマーの調合
材料	専用フラッタープライマーを使うとき
梱包単位	9kg缶
1缶当たりの施工可能面積	240m ²

※下地の状況

一般にフラッター塗りは、プライマー塗布後全面に2回塗り程度で仕上がります。しかし、下地の状況によっては、全面塗りをさらにもう1回加える必要があります。この場合は、塗り手間が標準より約20~30%高となります。

※作業効率

一般には、プライマー塗布も含めて標準塗り厚み0.5mm全面塗布（2回塗り）で、1回の施工可能面積は100m²程度（1人工）です。